

# 教育課程特例校

北海道シュタイナー学園いずみの学校初等部・中等部は、平成21年度より教育課程特例校として認定され、特別の教育課程を実施しています。

学習指導要領に基づきながら、シュタイナー教育の人間観に基づくカリキュラムが実践できるように、各教科の内容と時間数を、学年をまたいで弾力的に編成しています。実習や行事を重視し、芸術性の中に道徳性が感じられるような授業の構成を行い、数週間同一の教科を朝の2時間継続するエポック授業という方式を取って体験を深めます。更に、各教科が相互に補いあう新設教科も設置し、独自の特色を備えています。

外国語としての英語は小学校1年時から実施し、異文化への捉われのない感覚を育て、「青空教室」では、地域の自然環境を活かしながら、1年を通じた登山やキャンプ等の活動によって、自然を肌で知る感覚や安定した精神と体を育て、「オイリュトミー」では音楽と詩・身体芸術的な集団の運動の中で、社会性を育みます。

## 教科別年間授業時数

北海道シュタイナー学園いずみの学校											
学校種	初等部(小学校)							中等部(中学校)			
教科名等/学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	1年 (7年)	2年 (8年)	3年 (9年)	計
国語	211	236	245	184	170	110	1156	99	132	154	385
社会	—	—	0	74	94	112	280	110	121	132	363
算数/数学	110	143	194	144	158	140	889	154	99	99	352
理科	—	—	0	74	91	168	333	110	121	209	440
生活	37	37	74	—	—	—	148	—	—	—	—
音楽	37	37	37	74	74	74	333	66	66	33	165
図画工作/美術	74	74	74	74	37	37	370	66	66	33	165
家庭/技術家庭	—	—	—	—	74	74	148	66	66	33	165
体育/保健体育	37	37	37	37	74	74	296	66	66	66	198
外国語/英語	37	37	74	74	74	74	370	134	134	101	369
フォルメン	17	17	17	17	17	—	85	—	—	—	—
練習	74	74	74	74	37	37	370	33	33	33	99
オイリュトミー	37	37	37	37	74	74	296	66	66	33	165
青空教室	74	74	74	74	74	74	444	66	66	66	198
身体と暮らし	37	37	37	37	37	37	222	—	—	—	—
道徳	34	35	35	35	35	35	209	33	33	33	99
特別活動	34	35	35	35	35	35	209	33	33	33	99
総合的な学習の時間	—	—	0	0	37	37	74	0	0	44	44
選択教科	—	—	—	—	—	—	—	0	0	0	0
学年別合計	850	910	1044	1044	1192	1192	6232	1102	1102	1102	3306
学習指導要領	850	910	980	1015	1015	1015	5785	1015	1015	1015	3045

\*第1学年から第6学年の1単位時間は45分、第7学年から第9学年の1単位時間は50分(端数切捨)として計算。

○ 管理機関による特別の教育課程の実施状況に関する把握・検証結果

(1) 特別の教育課程編成・実施計画に基づく教育の実施状況

- 計画通り実施できている
- ・一部、計画通り実施できていない
- ・ほとんど計画通り実施できていない

(2) 実施状況に関する特記事項

特になし

(3) 保護者及び地域住民その他の関係者に対する情報提供の状況

- 実施している
- ・実施していない

<特記事項>

毎年、保護者や地域住民を対象として「オープンデー」や「いずみ祭」を実施し、本校が特別の教育課程を実施している学校であることの認識を深めていただけるよう工夫を図っている。

また、学校のウェブサイトによる学校活動の配信、町の広報発行に合わせ「学校だより」を配布している。

○ 実施の効果及び課題

(1) 特別の教育課程の編成・実施により達成を目指している目標との関係

本特例は、シュタイナー教育の理念の実現を目標としている。それは、世界を自分の心で感じ、自分の頭で考え、手足を使って行為する人間になること、そして、その行為が真善美にかなっていることである。本特例の実施によって、児童・生徒たちは、教科に心からの関心を持ち、自分の生活にそれを結びつけながら、生き生きとした日々を過ごすことができている。外国人に対しても共感を持って友人になり、臆することなく自分の意見を人に伝えることができる。

一方、例えば「糸紡ぎ」や登山、園芸等、実際に手足を使つての作業が多く、専門性を備えた指導者が常に必要となるため、その人材不足が懸念事項である。

## (2) 学校教育法等に示す学校教育の目標との関係

本特例の実施により、学校活動全体に「畏敬の念」の浸透したシュタイナー教育の授業が行われてきた。新設教科「青空教室」では、余程の荒天でない限り、適切な装備をして山や海など自然の中に出て散策、野営等の活動を通年行うことで、自然の雄大さを体感しながら、文明の偉大さにも感嘆する。それは世界のどこへでも出かけて何かをしたいという意欲のある生徒が育っている。しかし、私立学校が他に存在しないため、シュタイナー教育への地域社会からの理解は十分に得られているとは言えない状況である。

## ○ 課題の改善のための取組の方向性

様々な課題を踏まえて、児童・生徒と保護者を含めた地域社会との更なる交流を深め、人脈を広げていくとともに、シュタイナー教育に関する啓蒙、周知を行っていくことが重要であると認識している。